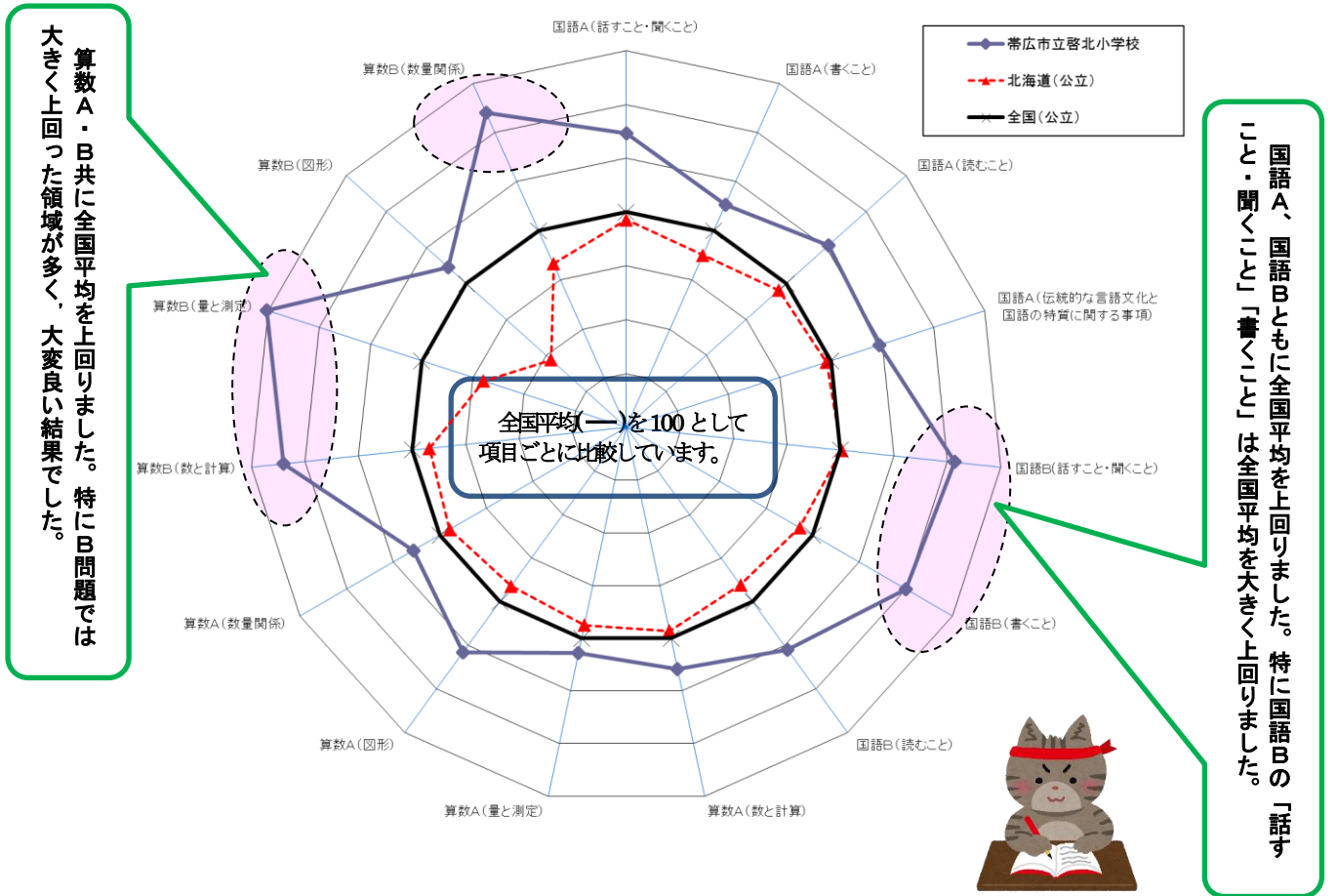


平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果を受けて

帯広市立啓北小学校

調査結果からみた、本校児童の様子

学力について



国語 A<主として知識>

- すべての領域において全国平均を上回った。
- 問題では、漢字の読み書きが良くできていて、特に「置く」の書きが全国平均より大きく上回った。
- 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する問題が、あまりできていなかった。(3年生既習事項)

国語 B<主として活用>

- すべての領域において全国平均を上回った。
- 分かったことを的確に書いたり、目的に応じて質問内容を整理したりする設問において、大きく全国平均を上回った。
- 記述式の設問においては、正答率が全国平均に比べて上回る一方で、無回答率も高いことが課題。

算数 A<主として知識>

- すべての領域において全国平均を上回った。
- 特に「図形」の領域である、正五角形の性質や立方体の位置関係などについてよく理解している。
- 「数と計算」の領域の数量の関係についてもよく理解していた。
- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算において課題が見られた。

算数 B<主として活用>

- すべての領域において全国平均を大きく上回った。
- すべての設問において全国平均を上回っており、特に料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを、言葉や式を用いて記述できるかどうかをみる設問において、記述式ながら、大きく上回った。

学習状況について(児童質問紙より)

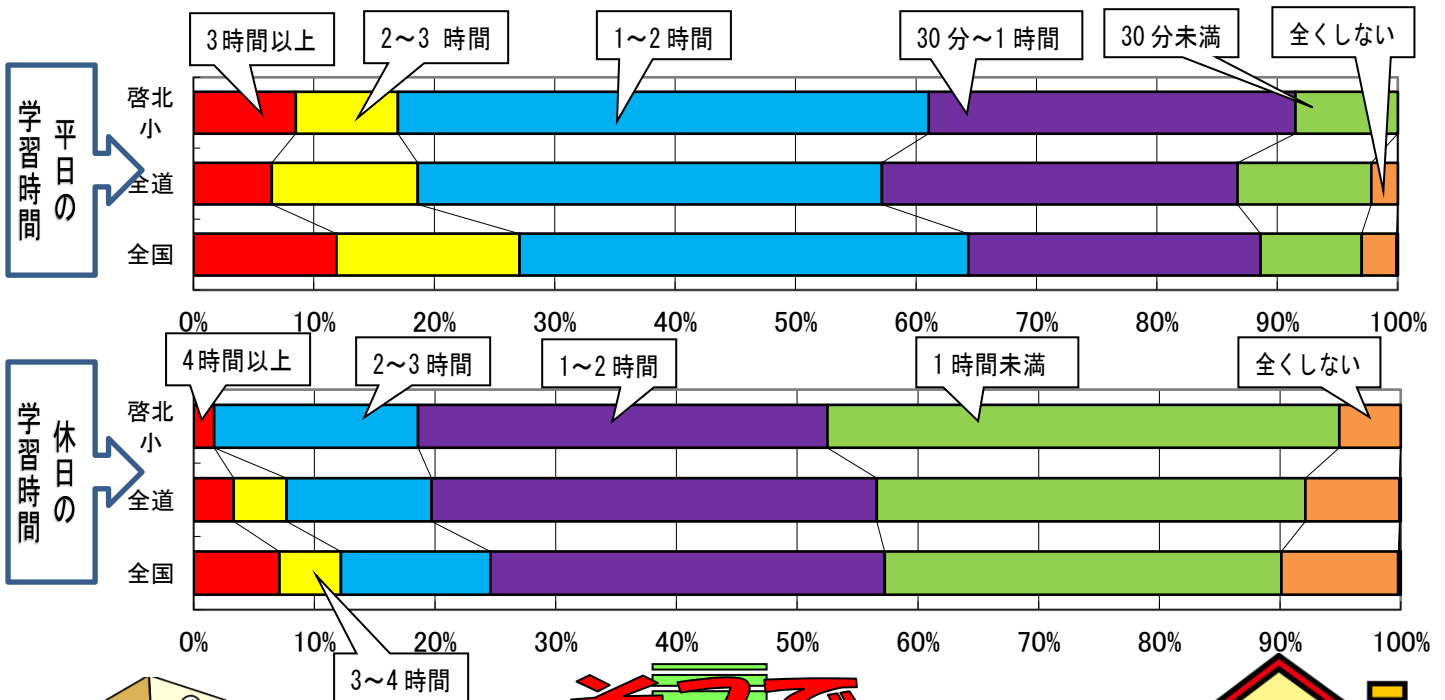
○答えの導き方を学ぶ時はわけを理解したり、自分の考えをわかりやすく伝えられるように理由も含めて話そうと考える児童が多い。

○自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる児童が多い。

▲学校のある日、休日ともに家庭での学習時間が短い。



全国平均に比べて家庭学習の時間が少し短めですが、「全くしない」という児童は少ないことから、学習する習慣はついていると言えます。



学校では... 家庭では...



①基礎・基本の確実な定着

- ・はばたきタイム(朝学習), チャレンジテストの活用
- ・漢字や計算の反復練習

②分かりやすい授業づくり

- ・1時間の課題とまとめが明確な授業
- ・ITや少人数指導など複数の教師による個に応じた指導

③学習規律・学習習慣の定着

- ・全学級統一の「学習のきまり」を設定し、返事の仕方や話の聞き方を継続指導
- ・宿題の提示や、家庭学習への取組奨励と評価(児童への励まし)

①机に向かう時間の確保

- ・「10分間×学年+10分間」を目標にする
- ・時間帯を決めて毎日継続(定着するまでは、保護者からの声掛けを)

②テレビやゲームの時間を決める

- ・自分の生活を振り返り、視聴時間を再確認(「生活リズムチェックシート」の活用)
- ・テレビやゲームを減らし、家庭学習や読書の時間に(ストップ・ザ・見放題, 家読)

③心がふれあう時間の確保

- ・将来を思い描き、学習の意義を感じながら意欲をもって学習に取り組む姿勢を育む
- ・子供の頑張りやよい所を認め、褒める

学校と家庭が連携し、学力向上を目指しましょう!